



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日 東

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所
 コード番号 6222 URL <http://www.shimaseiki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 正博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 31,757 | △9.3 | 2,689 | △25.2 | 3,145 | △58.7 | 1,988 | △61.1 |
| 27年3月期第3四半期 | 35,030 | 28.7 | 3,598 | 189.3 | 7,623 | 15.8 | 5,108 | 9.3 |

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,432百万円(△81.5%) 27年3月期第3四半期 7,739百万円(15.5%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 58.11 | — |
| 27年3月期第3四半期 | 149.30 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 125,012 | 98,498 | 78.6 |
| 27年3月期 | 126,987 | 98,179 | 77.2 |

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 98,300百万円 27年3月期 97,985百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 15.00 | — | 17.50 | 32.50 |
| 28年3月期 | — | 15.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 22.50 | 37.50 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年3月期(予想) 期末配当の内訳 普通配当20円00銭 記念配当2円50銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|-------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 51,000 | 5.5 | 7,000 | 21.8 | 7,500 | △11.5 | 5,000 | 37.1 | 146.12 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 28年3月期3Q | 36,600,000株 | 27年3月期 | 36,600,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期3Q | 2,382,033株 | 27年3月期 | 2,381,276株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 28年3月期3Q | 34,218,451株 | 27年3月期3Q | 34,219,597株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| 4. 補足情報 | 11 |
| 受注及び販売の状況 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済の動向は、米国では国内需要を中心とした拡大基調が続いており、欧州経済も金融緩和の継続を受けて堅調に回復しています。一方、中国においては設備投資の停滞や株式市場の急落など景気の減速傾向が続いており、他の新興国経済も総じて成長ペースが鈍化しています。わが国では、金融緩和や原油安を背景に企業収益の改善傾向が見られるものの、世界的な金融市場の混乱を受けて景気の先行きは不透明さを増しています。

このような経済情勢の中、当社グループは国内外ユーザーの様々なニーズを捉え、市場に適合した新機種の開発と産地に密着した提案型の営業活動に注力いたしました。

当社のコア・ビジネスである横編機事業では、バングラデシュやASEAN諸国などアジアの大量生産型市場においては、前年同期に比べるとペースダウンしましたが、低い人件費やインフラの整備を背景に設備投資が堅調に拡大しており、コストパフォーマンスに優れた「SSR」や、さらに生産効率を高めた「SVR」を中心に販売が進みました。また、中国市場ではアパレル消費需要は拡大しているものの、製品輸出の減少や人件費の上昇により、設備投資は減少しました。中東のトルコでは欧州アパレル向けの生産が回復したことで近年の調整段階を脱して設備投資が拡大し、「SVR」の売上が増加しました。

先進国市場ではデザインシステムとの連携による付加価値の高い商品開発と、消費地における短納期生産体制に活路を見出す動きが広がり、ホールガメント®横編機の販売が増加しました。また、昨年11月にミラノで開催された国際展示会ITMA展では、世界で初めて可動型シンカー装置を搭載した4枚ベッドのホールガメント®横編機「MACH2XS」を中心に、当社の最新鋭の製品ラインアップを出展し、他社の追随を許さないトータルファッションシステムによる技術革新で、高レベルな製品開発力を業界に発信しました。

国内市場では「MACH2XS」の採用が進み、ボリュームは小さいながらもコンピュータ横編機の設備投資は前年同期より増加しました。

これらにより、横編機事業全体では売上高は232億65百万円（前年同期比9.5%減）となりましたが、受注高は、期初の想定通り、主に前述のITMA展を機に大幅に増加し、283億94百万円（前年同期比25.0%増）となりました。

デザインシステム関連事業においては、主力製品の「SDS-ONE APEX3」は幅広い業界に販路が広がったことで堅調に売上が増加しました。また、自動裁断機「P-CAM」については、アパレル縫製業界のみならず自動車内装部品、産業資材関連向けに引き続き売上が拡大しました。この結果、事業全体の売上高は27億34百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

手袋靴下編機事業は、近年、当社製品の安定性や耐久性、生産商品の品質の良さが見直され、国内外の大手メーカーからの受注は回復基調にありましたが、今期に入り減速し、売上高は11億9百万円（前年同期比54.3%減）となりました。

その他の事業につきましては部品や紡毛糸の販売が順調に推移し、売上高は46億47百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間全体の売上高は317億57百万円（前年同期比9.3%減）となりました。利益面におきましては、売上総利益率は改善したものの貸倒引当金繰入額や人件費の増加などで販管費率が増加し、営業利益は26億89百万円（前年同期比25.2%減）となりました。また前年同期に37億7百万円を計上した為替差益が、88百万円の為替差損に転じたことで営業外収支が悪化し、経常利益は31億45百万円（前年同期比58.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億88百万円（前年同期比61.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は、現金及び預金の減少などで前期末に比べ19億75百万円減少し、1,250億12百万円となりました。負債合計は未払法人税等の減少などで前期末に比べ22億94百万円減少し、265億13百万円となりました。また自己資本の額は983億円となり、自己資本比率は前期末に比べて1.4ポイント上昇し78.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までは売上高、利益ともに期初の業績予想を下回って推移しておりますが、アジア地域およびトルコにおけるコンピュータ横編機の受注状況が活発な動きとなっており、第4四半期に売上の大幅な拡大が見込めることや、昨年11月に開催したITMA展において好評を博したホールゲーム機®横編機やデザインシステムの拡販が期待できることなどから、平成27年5月1日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

*ホールゲーム機は、株式会社島精機製作所の登録商標です。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

海外連結子会社は、税金費用について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたしました。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 14,512 | 11,902 |
| 受取手形及び売掛金 | 52,578 | 53,266 |
| 有価証券 | 60 | 51 |
| たな卸資産 | 18,676 | 20,448 |
| その他 | 3,572 | 3,374 |
| 貸倒引当金 | △1,295 | △1,559 |
| 流動資産合計 | 88,104 | 87,485 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 5,486 | 5,243 |
| 土地 | 10,891 | 10,901 |
| その他(純額) | 3,635 | 3,872 |
| 有形固定資産合計 | 20,013 | 20,016 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 5,040 | 4,727 |
| その他 | 116 | 106 |
| 無形固定資産合計 | 5,157 | 4,834 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,735 | 7,810 |
| 退職給付に係る資産 | 650 | 727 |
| その他 | 8,994 | 8,392 |
| 貸倒引当金 | △3,668 | △4,254 |
| 投資その他の資産合計 | 13,711 | 12,675 |
| 固定資産合計 | 38,882 | 37,526 |
| 資産合計 | 126,987 | 125,012 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,384 | 5,674 |
| 短期借入金 | 6,250 | 6,000 |
| 未払法人税等 | 1,859 | 389 |
| 賞与引当金 | 793 | 541 |
| 債務保証損失引当金 | 627 | 484 |
| その他 | 4,134 | 4,802 |
| 流動負債合計 | 20,050 | 17,893 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,000 | 5,000 |
| 長期末払金 | 1,087 | 1,051 |
| リース債務 | 1,071 | 1,075 |
| 退職給付に係る負債 | 1,068 | 1,089 |
| その他 | 529 | 403 |
| 固定負債合計 | 8,756 | 8,619 |
| 負債合計 | 28,807 | 26,513 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 14,859 | 14,859 |
| 資本剰余金 | 21,724 | 21,724 |
| 利益剰余金 | 72,975 | 73,852 |
| 自己株式 | △6,906 | △6,907 |
| 株主資本合計 | 102,653 | 103,528 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 835 | 660 |
| 土地再評価差額金 | △7,004 | △7,004 |
| 為替換算調整勘定 | 1,311 | 954 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 188 | 161 |
| その他の包括利益累計額合計 | △4,668 | △5,227 |
| 新株予約権 | 180 | 180 |
| 非支配株主持分 | 14 | 18 |
| 純資産合計 | 98,179 | 98,498 |
| 負債純資産合計 | 126,987 | 125,012 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 35,030 | 31,757 |
| 売上原価 | 19,551 | 16,743 |
| 売上総利益 | 15,479 | 15,013 |
| 販売費及び一般管理費 | 11,881 | 12,323 |
| 営業利益 | 3,598 | 2,689 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 292 | 331 |
| 受取配当金 | 104 | 182 |
| 為替差益 | 3,707 | - |
| その他 | 210 | 377 |
| 営業外収益合計 | 4,315 | 891 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 97 | 68 |
| 為替差損 | - | 88 |
| デリバティブ損失 | 103 | - |
| 貸倒引当金繰入額 | - | 219 |
| その他 | 89 | 60 |
| 営業外費用合計 | 290 | 435 |
| 経常利益 | 7,623 | 3,145 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 61 | 146 |
| 特別利益合計 | 61 | 146 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 13 | 19 |
| 減損損失 | 26 | - |
| 特別損失合計 | 40 | 19 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 7,645 | 3,271 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,288 | 1,070 |
| 法人税等調整額 | 246 | 208 |
| 法人税等合計 | 2,535 | 1,279 |
| 四半期純利益 | 5,110 | 1,992 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 1 | 3 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 5,108 | 1,988 |

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 5,110 | 1,992 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 319 | △175 |
| 為替換算調整勘定 | 2,354 | △357 |
| 退職給付に係る調整額 | △45 | △26 |
| その他の包括利益合計 | 2,628 | △559 |
| 四半期包括利益 | 7,739 | 1,432 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 7,737 | 1,428 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1 | 3 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|--------------------|------------|--------|------------|--------|
| | 横編機 | デザイン システム 関連 | 手袋靴下 編機 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 25,714 | 2,496 | 2,426 | 30,637 | 4,393 | 35,030 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 25,714 | 2,496 | 2,426 | 30,637 | 4,393 | 35,030 |
| セグメント利益 | 5,750 | 615 | 560 | 6,926 | 474 | 7,400 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利 益 | 金 額 |
|-----------------|--------|
| 報告セグメント計 | 6,926 |
| 「その他」の区分の利益 | 474 |
| 全社費用(注) | △3,802 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 3,598 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|--------------------|------------|--------|------------|--------|
| | 横編機 | デザイン システム 関連 | 手袋靴下 編機 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 23,265 | 2,734 | 1,109 | 27,109 | 4,647 | 31,757 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 23,265 | 2,734 | 1,109 | 27,109 | 4,647 | 31,757 |
| セグメント利益 | 5,329 | 601 | 169 | 6,100 | 518 | 6,618 |

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利 益 | 金 額 |
|-----------------|--------|
| 報告セグメント計 | 6,100 |
| 「その他」の区分の利益 | 518 |
| 全社費用(注) | △3,929 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 2,689 |

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

4. 補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

| セグメントの名称 | 受注高 | 前年同四半期比 | 受注残高 | 前年同四半期比 |
|------------|--------|---------|--------|---------|
| 横編機 | 28,394 | 125.0% | 9,790 | 206.3% |
| デザインシステム関連 | 2,891 | 103.9% | 585 | 111.7% |
| 手袋靴下編機 | 1,306 | 54.2% | 335 | 170.3% |
| 合計 | 32,592 | 116.8% | 10,712 | 195.9% |

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

| セグメントの名称 | 販売高 | 前年同四半期比 |
|------------|--------|---------|
| 横編機 | 23,265 | 90.5% |
| デザインシステム関連 | 2,734 | 109.6% |
| 手袋靴下編機 | 1,109 | 45.7% |
| その他 | 4,647 | 105.8% |
| 合計 | 31,757 | 90.7% |

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。